

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	兵庫県福祉サービス第三者評価委員会
所 在 地	神戸市中央区坂口通2 - 1 - 18
評価実施期間	2009年2月25日～2009年8月13日 (実地(訪問)調査日2009年3月4～5日)
評価調査者	HF05-1-0007 HF05-1-0010 HF06-1-0043

契約日から評価
結果の確定日まで

2 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称：同朋住吉台保育園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名：西口 昭子 (管理者)	開設(指定)年月日： 平成15年4月1日
設置主体： 経営主体：社会福祉法人同朋福祉会	定員：60名 (利用人数)74名
所在地：〒658-0062 神戸市東灘区住吉台25-7	
電話番号：078-846-6011	F A X 番号：078-846-6012
E-mail： sumiyoshi@mtg.biglobe.ne.jp	ホームページアドレス： http://www7a.biglobe.ne.jp/~dohosumi-yoshi/

(2) 基本情報

<p>理念・方針</p> <p>理念：同朋福祉会創立者 江川義清の「人は大切、子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中で子どもの最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図る。</p> <p>方針：1. 家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。 2. 子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。 3. 養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 4. 地域における子育て支援として、子育てに関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。 5. 行事などを通して日本の四季を感じる豊かな心を育てる。 6. 食を通して食べる事の楽しさ、からだを創る大切さ、命の尊さを伝え、健康な心とからだを育てる。</p>

力を入れて取り組んでいる点						
・ムーブメント保育						
・異年齢児保育						
職員配置 ()内非働	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
	園長	1 ()	事務員	1 ()	保育士	11 (2)
	栄養士	1 ()	調理員	1 ()		()
		()		()		()
施設の状況						
<p>保育園は、JR「住吉」駅からバスで10分程度の所で、水と空気のきれいな住吉川の上流にあり、1戸建て住宅が隣接しています。保育園の園舎は、平成15年4月に幼稚園の園舎を一部改築したものを使用しています。保育園の周りは、自然に恵まれた環境にあり、子ども達にとって遊びの宝庫になっています。</p>						

3 評価結果

総評

<p>特に評価の高い点</p> <p>理念や基本方針が明文化され、目指す方向性が示されています。理念や基本方針に基づいて、組織としての委員会活動や職員研修が実施され、充実した取り組みがなされています。</p> <p>各種マニュアル類は整備され、保育の実施に向けた体制が充実しています。</p> <p>ムーブメント保育講習、子育て支援講座等、地域に根ざした保育園として積極的に取り組んでいます。</p> <p>職員は日々、保護者との個別連絡ノートのやり取りや送迎の際のコミュニケーションを図ることで、子どもの成長を見守り、支援を行っています。</p>
<p>特に改善を求められる点</p> <p>園内は障害の程度に合わせて担当職員が付き添うなど配慮していますが、障害児保育のための環境を整備するという観点からは、さらに建物・設備のバリアフリーへの配慮が望まれます。</p>

第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>平成15年開園より2度目の受審で、1度目に積み残した課題と現状の見直しが出来ました。受審後も、保育園の質を高め、地域から信頼される保育園づくりに努力してまいります。また、保護者からも貴重なご意見をいただく機会となりましたこと本当に感謝しております。</p>

各評価項目に係る第三者評価結果

(別紙1)

各評価項目に係る評価結果グラフ

(別紙2)

評価細目の第三者評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	第三者評価結果
- 1-(1) 理念、基本方針を確立している。	
- 1-(1)- 理念を明文化している。	a・b・c
- 1-(1)- 理念に基づく基本方針を明文化している。	a・b・c
- 1-(2) 理念や基本方針を周知している。	
- 1-(2)- 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a・b・c

特記事項

理念・基本方針は事業計画、パンフレット、ホームページ等に明示し、保育園が目指す方向、考え方をしっかりと読み取ることができます。
また、入園説明時にパンフレット等を使用し、保護者等に説明し、理解を得ています。

- 2 計画の策定

	第三者評価結果
- 2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
- 2-(1)- 中・長期計画を策定している。	a・b・c
- 2-(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a・b・c
- 2-(2) 計画を適切に策定している。	
- 2-(2)- 計画の策定を組織的に行っている。	a・b・c
- 2-(2)- 計画を職員や利用者に周知している。	a・b・c

特記事項

平成18年度から園長が中心となり、保育園の現状と課題を1年間かけて分析し、それに基づき中・長期計画を策定しています。その内容を反映した事業計画を作成し、事業計画には具体的な数値目標が明記され、実施状況の評価・反省を行いやすいよう配慮しています。
また、保護者に対しては、保護者アンケートを実施し、次年度の事業計画に生かしています。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
- 3-(1) 管理者の責任を明確にしている。	

- 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・b・c
- 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
- 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a・b・c
- 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a・b・c

特記事項

<p>園長としての役割と責任を自覚し、質の高い保育サービスの実践に向けて、自ら率先垂範し、リーダーシップを発揮しています。</p> <p>また、管理者として、法令等の研修会や勉強会に参加し、それらの情報をリスト化し、職員会議を通して各職員に周知しています。</p> <p>外部監査を毎月実施し、働きやすい環境整備や効率的な運営のために指導力を発揮しています。</p>

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

	第三者評価結果
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
- 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a・b・c
- 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a・b・c
- 1 -(1)- 外部監査等を実施している。	a・b・c

特記事項

<p>神戸市私立保育園連盟に加入する等社会福祉事業全体の動向把握に努めています。また、区の子育て支援係と連携を密にし、地域の特徴やニーズ等を把握し、それを事業計画に反映しています。</p> <p>毎月外部監査を実施し、経営状況の分析を行っています。</p>
--

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
- 2 -(1) 人事管理の体制を整備している。	
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a・b・c
- 2 -(1)- 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a・b・c
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮している。	
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a・b・c
- 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a・・・c
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	

- 2-(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a・b・c
- 2-(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a・b・c
- 2-(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
- 2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
- 2-(4)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・b・c
- 2-(4)- 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a・b・c

特記事項

理念・基本方針に基づくサービスの質の確保、更なる保育サービスの質の向上に向けて、年度ごとに人事会議を行い、人員体制の確認、整備に努めています。

平成20年度より人事考課に取り組み始めため、定期実施には至っていません。

法人として、弁護士・社会保険労務士と契約を交わし、職員の希望に応じて相談できるよう環境も整備されています。

基本方針、中・長期計画の中に、利用者に対する職員の基本姿勢や保育サービスの質の向上に向けた組織が求める職員のあり方が明記されています。

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
- 3-(1)- 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a・b・c
- 3-(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c

特記事項

リスクマネジメント委員会を月に1回開催し、安全確保に関する検討・評価・見直しを重ねています。安全管理に関する各種マニュアルが整備され、全職員に周知されるとともに、ヒヤリハット報告書、おさんぼノート等を活用し、日々安全・安心を心がけています。

事故報告書を基に、事例をデータ化して細かく分析し、全職員により具体的に周知できるよう努めています。

- 4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
- 4-(1) 地域との関係を適切に確保している。	
- 4-(1)- 利用者地域とのかわりを大切にしている。	a・b・c
- 4-(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
- 4-(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確	a・b・c

立している。	
- 4 -(2) 関係機関との連携を確保している。	
- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	a · b · c
- 4 -(2)- 関係機関等との連携を適切に行っている。	a · b · c
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a · b · c

特記事項

<p>自治会の集会等で園を開放したり、地域のプール清掃に職員がボランティアで参加する等、地域に根ざした保育園として、地域との交流を積極的に行っています。</p> <p>年に2・3回地域の方に呼びかけ、ムーブメント保育講習、子育て支援講座等を実施しています。</p> <p>病院・関係官庁・学校・警察等への連絡一覧表があり、緊急時等にすぐ対応できるよう、全職員で共有化しています。</p>

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a · b · c
- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a · b · c
- 1 -(2) 利用者満足の向上に努めている。	
- 1 -(2)- 利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a · b · c
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a · b · c
- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a · b · c
- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a · b · c

特記事項

<p>保育計画は保育の基本方針に基づき作成し、ますます少子化になっている地域の実態を踏まえ、保護者の意向等に配慮して異年齢児交流を行っています。</p> <p>日頃からいつでも保護者に相談に乗ることへの声かけを行い、時間等保護者の希望に合わせるように配慮していますが、相談や意見を述べやすいスペースについては、園舎が旧幼稚園のものを使用しているため、部屋数が足りないという物理的な課題があります。</p> <p>利用者からの意見に対しては、「誠意」・「迅速」・「情報公開」を原則としています。</p>
--

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
--	---------

- 2 -(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。		
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		a・b・c
- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。		a・b・c
- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。		a・b・c
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。		
- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。		a・b・c
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。		a・b・c
- 2 -(3) サービス実施の記録を適切に行っている。		
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。		a・b・c
- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制を確立している。		a・b・c
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。		a・b・c

特記事項

<p>毎月月案会議・ケース会議を実施し、第三者評価を基に自己評価を行ったり、アセスメント委員会を開催しています。以前受審した第三者評価の分析・課題を基に、自己評価・改善が行われています。</p> <p>子ども一人ひとりの発達状況、保育目標、生活状況などは、個人経過記録、個別連絡ノート、保育日誌に記載されています。</p> <p>個人情報保護規程を整備しており、守秘義務の遵守のため職員と誓約書を取り交わしています。</p>
--

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
- 3 -(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・b・c
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a・b・c
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c

特記事項

<p>サービス内容が説明されたパンフレットはイラストを使い、分かりやすくなるよう工夫しています。パンフレットは児童館や区役所の子育て支援室などにも置いてあります。見学は常時受け入れ、体験利用は地域の親子を対象に募集を行い、年4回シリーズで行っています。</p> <p>入園の際の書類やパンフレットにて保育サービスの説明を分かりやすく行っており、同意書等も交わしています。</p> <p>保育終了後の相談方法や担当者について文書としては渡していませんが、終了後も保護者等が</p>

相談できるように担当者や窓口を設置しています。

- 4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
- 4 -(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a・b・c
- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a・b・c
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	a・b・c
- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c

特記事項

子どもの身体状況や生活状況等を個人経過記録簿に記録しています。アセスメント委員会の年間事業計画を基に見直しを行っています。子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にするため、個別懇談会を開催するなどして、クラス担任と保護者とで共通の個別保育目標を掲げています。サービス実施計画策定のため、月案会議を行っています。日誌、週保育日誌に評価、反省、課題を記載する項目があり、サービスが実施計画どおりに行われていることを確認する仕組みがあります。

評価対象 実施する福祉サービスの内容

- 1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
- 1 -(1) 発達援助の基本	
- 1 -(1)- 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a・b・c
- 1 -(1)- 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a・b・c
- 1 -(2) 健康管理・食事	
- 1 -(2)- 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a・b・c
- 1 -(2)- 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a・b・c
- 1 -(2)- 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a・b・c
- 1 -(2)- 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a・b・c
- 1 -(2)- 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a・b・c
- 1 -(2)- 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a・b・c

- 1-(2)-	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・b・c
- 1-(2)-	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a・b・c
- 1-(3) 保育環境		
- 1-(3)-	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
- 1-(3)-	生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a・b・c
- 1-(4) 保育内容		
- 1-(4)-	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a・b・c
- 1-(4)-	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a・b・c
- 1-(4)-	子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a・b・c
- 1-(4)-	身近な自然や社会とかがかわれるような取組を行っている。	a・b・c
- 1-(4)-	さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a・b・c
- 1-(4)-	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a・b・c
- 1-(4)-	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a・b・c
- 1-(4)-	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a・b・c
- 1-(4)-	乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
- 1-(4)-	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
- 1-(4)-	障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c

特記事項

保育計画は基本方針に基づき作成し、アンケートや面談等により保護者の意向を汲み取るよう配慮しています。地域の親子を対象としたふれあい遊びの際に、アンケート調査を実施しています。

月に1回以上、指導計画の評価を行っています。

健康診断は春・秋の年2回、歯科検診は年1回（4・5歳児のみ2回）実施しています。

感染症に関するマニュアルを整備し、発生状況を保護者や全職員に通知しています。

子どもが食べ物に関心を持つよう、園の畑で育てた野菜等（プチトマト・キュウリ・なす等）を子ども達と収穫し、給食やクッキング保育で調理しています。

障害児保育のための環境を整備するという観点から、建物・設備はバリアフリーの配慮が望まれます。

- 2 子育て支援

	第三者評価結果
- 2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
- 2-(1)-	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談など a・b・c

を行っている。	
- 2-(1)- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a・b・c
- 2-(1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a・b・c
- 2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a・b・c
- 2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a・b・c
- 2-(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・b・c

特記事項

個別連絡ノートで、毎日の子どもの様子や質問への回答の情報交換を行っています。
 クラス懇談会を年2回、個別懇談会を年1回開催し、子どもの年間目標を保護者と相談の上立てています。お別れ遠足の際に、「お母さん先生」を体験してもらったり、保護者と共通理解を得るための機会を設けています。
 虐待についてのマニュアルを整備し、マニュアルに基づき職員研修を実施しています。

- 3 安全・事故防止

	第三者評価結果
- 3-(1) 安全・事故防止	
- 3-(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a・b・c
- 3-(1)- 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a・b・c
- 3-(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a・b・c
- 3-(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a・b・c
- 3-(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a・b・c

特記事項

安全・事故防止のために衛生管理マニュアル・衛生管理点検表、また食中毒・事故・災害の発生時、不審者の侵入時などに対応できるためのマニュアルを整備し、定期的に見直しを行っています。
 職員間で事故防止のケースについて話し合い、研修を行っています。